

平成 2 1 年 度

東 京 都 後 期 高 齡 者 医 療 広 域 連 合
各 会 計 歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

東京都後期高齢者医療広域連合監査委員

22東広監第30号
平成22年9月28日

東京都後期高齢者医療広域連合長
多田正見様

東京都後期高齢者医療広域連合監査委員 鈴木郁夫
同 溝口誠

平成21年度東京都後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査の結果について

地方自治法第233条第2項の規定により、平成21年度東京都後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算書及び同附属資料を審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

| | | |
|----|-----------------|----|
| 第1 | 審査の対象 | 1 |
| 第2 | 審査の期間 | 1 |
| 第3 | 審査の方法 | 1 |
| 第4 | 審査の結果 | 1 |
| 第5 | 総括意見 | 2 |
| 第6 | 審査の概要 | 4 |
| | I 各会計歳入歳出決算の概要 | 4 |
| | II 一般会計 | 6 |
| | III 後期高齢者医療特別会計 | 11 |
| | IV 財産に関する調書 | 18 |

(注) 審査意見書中の数字等は、次により表示した。

- 1 文中及び表中の金額は、原則として、金額は千円単位とし、単位未満を四捨五入としたが、端数調整の都合上これによらないものもある。
- 2 比率は百分率で表示し、原則として小数点以下第2位を四捨五入としたが、端数調整の都合上これによらないものもある。
- 3 -表示は、皆無若しくは不能、不定または省略を示す。
- 4 △表示は、マイナスを表す。
- 5 その他、次の凡例による。

凡 例

| 名 称 | 内 容 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 構 成 比 | $(\text{算出したい部分の金額} \div \text{それら全体の合計金額}) \times 100$ 全体に占める割合を示す。 |
| 増 減 率 | $\{ (\text{算出したい年度の金額} \div \text{その前年度の金額}) - 1 \} \times 100$ その部分の前年度と比較した増減の状況を示す。 |
| 対予算収入率 | $(\text{収入済額} \div \text{予算現額}) \times 100$ 予算現額に対する収入の割合を示す。 |
| 対調定収入率 | $(\text{収入済額} \div \text{調定額}) \times 100$ 調定額に対する収入の割合を示す。 |
| 執 行 率 | $(\text{支出済額} \div \text{予算現額}) \times 100$ 予算現額に対する予算執行の割合を示す。 |
| 収入未済率 | $(\text{収入未済額} \div \text{調定額}) \times 100$ 調定額に対する収入未済額の割合を示す。 |
| 不納欠損率 | $(\text{不納欠損額} \div \text{調定額}) \times 100$ 調定額に対する不納欠損額の割合を示す。 |

平成 21 年度 東京都後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

- 1 平成 21 年度東京都後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算及び証書類
- 2 平成 21 年度東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
及び証書類
- 3 附属資料
 - ア 平成 21 年度東京都後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算事項別明細書
 - イ 平成 21 年度東京都後期高齢者医療広域連合各会計実質収支に関する調書
 - ウ 平成 21 年度東京都後期高齢者医療広域連合財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 22 年 8 月 26 日（木）～ 平成 22 年 9 月 27 日（月）

第 3 審査の方法

平成 21 年度各会計歳入歳出決算の審査は、各会計歳入歳出決算書及び附属資料が地方自治法等関係法令に準拠して調製されているか、決算計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているか、財産管理は適正であるかなどを検証するため、関係帳票類との照合等を行うとともに、必要に応じて各所管の説明を求めたほか、例月出納検査、定期監査の資料を参考にして実施した。

第 4 審査の結果

- 1 各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令の規定に準拠し、適正に調製されていることを確認した。
- 2 各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、関係帳票類と照合した結果、いずれも誤りのないことを確認した。
- 3 現金及び預金は、例月出納検査の際の残高確認、証拠書類の検査等により誤りのないことを確認した。
- 4 歳入の調定、支出負担行為及び支出命令等予算執行は、全体としては適正に処理されていると認められた。
- 5 財産に関する調書は、関係法令の規定に準拠して調製され、全体としては適正かつ妥当と認められた。

第5 総括意見

【一般会計】

平成 21 年度の決算について、一般会計の歳入総額は、5,018,841,696 円で、前年度に比して 170,248,194 円、3.5%の増、歳出総額は、4,899,110,493 円で、前年度に比して 261,393,128 円、5.6%の増となっている。

また、形式収支額・実質収支額はともに、119,731,203 円で、前年度に比して 91,144,934 円、43.2%の減となった。

【後期高齢者医療特別会計】

平成 21 年度の決算について、後期高齢者医療特別会計の歳入総額は、931,184,914,298 円で、前年度に比して 143,668,502,432 円、18.2%の増、歳出総額は、915,061,727,246 円で、前年度に比して 149,349,861,816 円、19.5%の増となっている。

また、形式収支額・実質収支額はともに、16,123,187,052 円で、前年度に比して 5,681,359,384 円、26.1%の減となった。

【平成 21 年度の主要な施策】

東京都後期高齢者医療広域連合は、平成 20 年 4 月からスタートした後期高齢者医療制度の運営を都内の全 62 区市町村とともに担っている。都内の被保険者数は 115 万人（平成 22 年 3 月 31 日現在）を超え、全国の被保険者の約 8%を占めている。

当広域連合では、制度開始 2 年目に当たって、丁寧でわかりやすい広報を引き続き心がけるとともに、被保険者が安心して医療を受けられるよう、区市町村のみならず、東京都や他の広域連合と緊密な連携を図り、制度の安定的運営に努めた。

主な施策は次の 7 項目である。

(1) 保険給付と医療費の適正化

被保険者に対する医療給付の確保を図るとともに、レセプト点検や医療費通知を行った。

(2) 保険料の軽減対策

制度発足 2 年目となる平成 21 年度においては、低所得者対策として、均等割額の 9 割軽減が追加された。また、引き続き当広域連合独自の事業として所得割額の 100%減額、75%減額を実施した。

(3) 健康診査事業の推進

後期高齢者の健康診査は、被保険者の利便性を考え、住所地の区市町村で受診できるよう、区市町村に事業を委託した。

(4) 広報広聴事業の充実

後期高齢者医療制度の丁寧な周知を図るため、広報紙の配布、ホームページの充実などを行い趣旨の普及に努めたほか、お問合せセンターを通じて問合せに対応した。

(5) 区市町村との連携と支援

区市町村での事務処理が円滑に進むよう各種の取り組みを行った。また、区市町村が行う広報経費、相談体制整備経費及び長寿・健康増進事業経費について、国の補助金を活用し区市町村の取り組みを支援した。

(6) 電算処理システム等の再構築

後期高齢者医療広域連合の業務は、全国共通の広域連合電算処理システムを中心に運営されている。しかし、他に比較して多くの被保険者を抱える当広域連合では、業務効率を高めるため工夫を必要とすることから、独自に電算処理システムのカスタマイズ及び周辺システムの開発等を行うことで、円滑な業務運営に努めた。

(7) 情報管理の徹底

当広域連合は、都内 62 区市町村の 115 万人を超える被保険者の膨大な個人情報を保有している。情報の漏えい、改ざん、盗難等を防止し、業務の中断及び社会的信頼の失墜といった脅威を確実に排除するため、広域連合の組織において情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を構築し、個人情報の保護に万全を期している。

広域連合は、後期高齢者医療制度を通じて住民の「安心」と生活の「安定」を支えるという極めて重要な役割を担っており、国や東京都、都内 62 区市町村との協力・連携を一層強め、医療給付費の適正な執行や、医療費適正化などを推進する必要がある。また、財政基盤の安定・強化を図り、同時に保険者機能の強化に努めなければならない。

特に、東京都後期高齢者医療広域連合は、被保険者数も多く、財政規模も格段に大きく、今後被保険者のさらなる増加が見込まれ、その運営のあり方は、住民の生活に大きな影響を及ぼす。

したがって、適正な財政運営や組織管理を含めて、簡素で効率的な制度運営を行うことにより、被保険者が安心して医療を受けることができるよう、今後も一層努力されたい。

第6 審査の概要

I 各会計歳入歳出決算の概要

(1) 各会計歳入歳出決算総額

第1表 各会計歳入歳出決算総額

(単位：円)

| 区 分 会 計 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出決算 差 引 額 |
|--------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 一 般 会 計 | 5,018,841,696 | 4,899,110,493 | 119,731,203 |
| 後期高齢者医療 特 別 会 計 | 931,184,914,298 | 915,061,727,246 | 16,123,187,052 |
| 合 計 | 936,203,755,994 | 919,960,837,739 | 16,242,918,255 |

各会計歳入歳出決算の総額は、

歳入決算額 9,362億375万5,994円

歳出決算額 9,199億6,083万7,739円

であり、歳入歳出決算差引額は、162億4,291万8,255円である。

(2) 各会計歳入歳出決算総額の推移

第2表 各会計歳入歳出決算総額の推移

(単位：円)

| 区 分 | 歳 入 | 歳 出 | 歳入歳出差引 |
|------|-----------------|-----------------|----------------|
| | 決算額 | 決算額 | 決算額 |
| 21年度 | 936,203,755,994 | 919,960,837,739 | 16,242,918,255 |
| 20年度 | 792,365,005,368 | 770,349,582,795 | 22,015,422,573 |
| 19年度 | 3,425,746,766 | 3,325,673,562 | 100,073,204 |
| 18年度 | 0 | 0 | 0 |

平成19年度は、一般会計のみの執行である。

平成20年度から特別会計が新設された。

(3) 各会計予算総額執行状況の推移

第3表 各会計予算総額執行状況の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | | 18 年度 | 19 年度 | 20 年度 | 21 年度 |
|------|--------|-------|-----------|-------------|-------------|
| 予算現額 | | 0 | 3,423,160 | 792,712,566 | 926,497,484 |
| 歳入 | 調定額 | 0 | 3,425,747 | 792,367,547 | 936,226,381 |
| | 収入済額 | 0 | 3,425,747 | 792,365,006 | 936,203,756 |
| | 不納欠損額 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 収入未済額 | 0 | 0 | 2,541 | 22,625 |
| | 対予算収入率 | - | 100.1 | 100.0 | 101.0 |
| | 対調定収入率 | - | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 歳出 | 執行額 | 0 | 3,325,674 | 770,349,582 | 919,960,837 |
| | 翌年度繰越額 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 不用額 | 0 | 97,486 | 22,362,984 | 6,536,647 |
| | 執行率 | - | 97.2 | 97.2 | 99.3 |

東京都後期高齢者医療広域連合は、平成19年3月1日に設立された。

平成18年度においては、広域連合設立準備委員会が設立準備を行ったため、広域連合としての一般会計予算総額は0千円であった。

平成19年度から、一般会計が執行され、平成20年度からは、一般会計に加え、特別会計が設置された。

平成21年度の歳入決算総額は、前年度と比較し143,838,750千円の増である。予算現額に対する収入率は、101.0%となっている。

不納欠損額は0円、収入未済額は、前年度と比較し20,084千円の増となっている。

歳出決算総額は、前年度と比較し149,611,255千円の増である。予算現額に対する執行率は、99.3%となっている。不要額は、前年度と比較し15,826,337千円の減となっている。

Ⅱ 一般会計

1 決算の概要

(1) 決算の規模

第4表 決算規模の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | 歳 入 | | 歳 出 | | 歳入歳出差引 | |
|------|-----------|------|-----------|------|---------|-------|
| | 決算額 | 増減率 | 決算額 | 増減率 | 決算額 | 増減率 |
| 21年度 | 5,018,842 | 3.5 | 4,899,110 | 5.6 | 119,732 | △43.2 |
| 20年度 | 4,848,594 | 41.5 | 4,637,717 | 39.5 | 210,877 | 110.7 |
| 19年度 | 3,425,747 | 皆増 | 3,325,674 | 皆増 | 100,073 | 皆増 |

平成21年度における一般会計歳入決算額は、前年度と比較して170,248千円、3.5%の増、歳出決算額は261,393千円、5.6%の増となっている。

歳入歳出差引額は、前年度と比較して91,145千円、43.2%の減となっており、歳入歳出差引額119,732千円は、翌年度に繰り越している。

(2) 財政収支の状況

第5表 決算収支の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | 19年度 | | 20年度 | | | 21年度 | | | |
|---------------------------------|------------------|-----|-----------|-----------|-------|-----------|---------|-------|---|
| | 決算額 | 増減率 | 決算額 | 増減額 | 増減率 | 決算額 | 増減額 | 増減率 | |
| 1 歳入総額 A | 3,425,747 | 皆増 | 4,848,594 | 1,422,847 | 41.5 | 5,018,842 | 170,248 | 3.5 | |
| 2 歳出総額 B | 3,325,674 | 皆増 | 4,637,717 | 1,312,043 | 39.5 | 4,899,110 | 261,393 | 5.6 | |
| 3 差引額 (形式収支額) C = A - B | 100,073 | 皆増 | 210,877 | 110,804 | 110.7 | 119,732 | △91,145 | △43.2 | |
| 4 繰越財源 | (1) 継続費 繰越額 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| | (2) 繰越明 許費繰越額 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| | (3) 事故繰 越し繰越額 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| | 計 D | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| 5 実質収支額 E = C - D | 100,073 | 皆増 | 210,877 | 110,804 | 110.7 | 119,732 | △91,145 | △43.2 | |
| 6 単年度収支 F = E - 前年度 実質収支額 | 100,073 | 皆増 | 110,804 | - | - | △91,145 | - | - | |

平成21年度の財政収支についてみると、形式収支額は、前年度210,877千円と比較し91,145千円、43.2%減の119,732千円である。

実質収支額は、翌年度に繰越すべきものがないため、同額となっている。

2 歳入

(1) 歳入の状況

第6表 歳入決算の状況

(単位:千円、%)

| 款 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納 欠損額 | 収入 未済額 | 対予算 収入率 | 対調定 収入率 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 1 分担金及び負担金 | 4,095,520 | 4,095,520 | 4,095,520 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 2 国庫支出金 | 23,613 | 23,613 | 23,613 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 3 都支出金 | 23,613 | 23,613 | 23,613 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 4 財産収入 | 16,912 | 15,729 | 15,729 | 0 | 0 | 93.0 | 100.0 |
| 5 繰越金 | 210,876 | 210,876 | 210,876 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 6 諸収入 | 501 | 434 | 434 | 0 | 0 | 86.6 | 100.0 |
| 7 繰入金 | 668,905 | 649,033 | 649,033 | 0 | 0 | 97.0 | 100.0 |
| 8 寄附金 | 0 | 24 | 24 | 0 | 0 | 皆増 | 100.0 |
| 歳入合計 | 5,039,940 | 5,018,842 | 5,018,842 | 0 | 0 | 99.6 | 100.0 |

予算現額に対する収入率は 99.6%で、調定額 5,018,842 千円に対する収入率は、前年度と同様 100.0%である。不納欠損額及び収入未済額は 0 円である。

(2) 歳入決算の推移

ア 歳入決算の推移

第7表 歳入決算の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | 19 年度 | 20 年度 | 21 年度 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 予算現額 | 3,423,160 | 4,846,440 | 5,039,940 |
| 調定額 | 3,425,747 | 4,848,594 | 5,018,842 |
| 収入済額 | 3,425,747 | 4,848,594 | 5,018,842 |
| 対予算収入率 | 100.0 | 100.0 | 99.6 |
| 対調定収入率 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 不納欠損額 | 0 | 0 | 0 |
| 不納欠損率 | - | - | - |
| 収入未済額 | 0 | 0 | 0 |
| 収入未済率 | - | - | - |

平成 21 年度の対予算収入率は、99.6%、対調定収入率は、100.0%である。

イ 款別歳入決算額の推移

第8表 款別歳入決算額の推移

(単位:千円、%)

| 款 | 19年度 | | | 20年度 | | | | 21年度 | | | |
|------------|-----------|-------|-----|-----------|-------|------------|-------|-----------|-------|-----------|--------|
| | 決算額 | 構成比 | 増減率 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 1 分担金及び負担金 | 1,754,732 | 51.2 | 皆増 | 4,453,740 | 91.9 | 2,699,008 | 153.8 | 4,095,520 | 81.6 | △ 358,220 | △ 8.0 |
| 2 国庫支出金 | 1,668,425 | 48.7 | 皆増 | 22,673 | 0.5 | △1,645,752 | △98.6 | 23,613 | 0.5 | 940 | 4.1 |
| 3 都支出金 | 0 | 0.0 | - | 222,673 | 4.6 | 222,673 | 皆増 | 23,613 | 0.5 | △ 199,060 | △ 89.4 |
| 4 財産収入 | - | - | - | 9,109 | 0.2 | 9,109 | 皆増 | 15,729 | 0.3 | 6,620 | 72.7 |
| 5 繰越金 | - | - | - | 100,073 | 2.0 | 100,073 | 皆増 | 210,876 | 4.2 | 110,803 | 110.7 |
| 6 諸収入 | 2,590 | 0.1 | 皆増 | 1,642 | 0.0 | △948 | △36.6 | 434 | 0.0 | △ 1,208 | △ 73.6 |
| 7 繰入金 | - | - | - | 38,684 | 0.8 | 38,684 | 皆増 | 649,033 | 12.9 | 610,349 | 1577.8 |
| 8 寄附金 | - | - | - | - | - | - | - | 24 | 0.0 | 24 | 皆増 |
| 歳入合計 | 3,425,747 | 100.0 | 皆増 | 4,848,594 | 100.0 | 1,422,847 | 41.5 | 5,018,842 | 100.0 | 170,248 | 3.5 |

平成21年度の歳入決算額は、前年度と比較し 170,248千円、3.5%の増である。

これは、分担金及び負担金が 358,220千円、8.0%の減、都支出金が 199,060千円、89.4%の減となったものの、繰越金が 110,803千円、110.7%の増、繰入金が 610,349千円、1577.8%の増となったことなどにより、総額 170,248千円の微増となったものである。

3 歳 出

(1) 歳出の状況

第9表 歳出決算の状況

(単位:千円、%)

| 款 | 予算現額 | 支出済額 | 構成比 | 執行率 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------|-----------|-----------|-------|-------|--------|---------|
| 1 議会費 | 5,737 | 2,698 | 0.1 | 47.0 | 0 | 3,039 |
| 2 総務費 | 557,471 | 450,861 | 9.2 | 80.9 | 0 | 106,610 |
| 3 民生費 | 3,713,695 | 3,713,213 | 75.8 | 100.0 | 0 | 482 |
| 4 公債費 | 47 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 47 |
| 5 諸支出金 | 752,990 | 732,338 | 14.9 | 97.3 | 0 | 20,652 |
| 6 予備費 | 10,000 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 10,000 |
| 歳出合計 | 5,039,940 | 4,899,110 | 100.0 | 97.2 | 0 | 140,830 |

歳出は、款別では主に民生費で構成されている。これは、区市町村からの事務費分賦金と保険料不均一賦課国庫支出金及び都支出金の特別会計への繰出金である。

(2) 歳出決算の推移

ア 歳出決算の推移

第10表 歳出決算の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 予算現額 | 3,423,160 | 4,846,440 | 5,039,940 |
| 支出済額 | 3,325,674 | 4,637,717 | 4,899,110 |
| 執行率 | 97.2 | 95.7 | 97.2 |
| 翌年度繰越額 | 0 | 0 | 0 |
| 対予算現額比 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 不用額 | 97,486 | 208,723 | 140,830 |
| 対予算現額比 | 2.8 | 4.3 | 2.8 |

イ 款別歳出決算額の推移

第 11 表 款別歳出決算額の推移

(単位:千円、%)

| 款 | 19 年度 | 20 年度 | | | | 21 年度 | | | |
|--------|-----------|-----------|-------|------------|--------|-----------|-------|----------|--------|
| | 決算額 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 1 議会費 | 2,647 | 2,156 | 0.1 | △491 | △18.5 | 2,698 | 0.1 | 542 | 25.1 |
| 2 総務費 | 1,551,638 | 663,517 | 14.3 | △888,121 | △57.2 | 450,861 | 9.2 | △212,656 | △32.0 |
| 3 民生費 | 161,559 | 3,919,507 | 84.5 | 3,757,948 | 2326.1 | 3,713,213 | 75.8 | △206,294 | △5.3 |
| 4 公債費 | 13 | 0 | 0.0 | △13 | △100.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5 諸支出金 | 1,609,817 | 52,537 | 1.1 | △1,557,280 | △96.7 | 732,338 | 14.9 | 679,801 | 1293.9 |
| 6 予備費 | - | 0 | 0.0 | - | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 歳出合計 | 3,325,674 | 4,637,717 | 100.0 | 1,312,043 | 39.5 | 4,899,110 | 100.0 | 261,393 | 5.6 |

平成 21 年度の歳出決算額を前年度と比較すると 261,393 千円、5.6%の増である。これは、諸支出金が 679,801 千円、1293.9%の増となった一方、総務費が 212,656 千円、32.0%の減、民生費が 206,294 千円、5.3%の減となったことによる。

Ⅲ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計は、平成 20 年度に高齢者の医療の確保に関する法律に基づき新設された。

特別会計の歳入は、区市町村負担金、国庫支出金、都支出金、支払基金交付金等で構成されている。これは、療養の給付に対する負担金が主なものである。そのうち、保険料を軽減するための特別対策としての補助金が含まれている。

特別会計の歳出は、款別では主に保険給付費で構成されている。これは主に療養の給付に対する費用である。

その他には、区市町村へ委託し健康診査を実施した保健事業費や、基金への積立金等がある。

1 決算の概要

(1) 決算の規模

第 12 表 決算規模の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | 歳 入 | | 歳 出 | | 歳入歳出差引 | |
|-------|-------------|------|-------------|------|------------|-------|
| | 決算額 | 増減率 | 決算額 | 増減率 | 決算額 | 増減率 |
| 21 年度 | 931,184,914 | 18.2 | 915,061,727 | 19.5 | 16,123,187 | △26.1 |
| 20 年度 | 787,516,412 | 皆増 | 765,711,865 | 皆増 | 21,804,547 | 皆増 |

平成 21 年度における後期高齢者医療特別会計歳入決算額は、前年度と比較して 143,668,502 千円、18.2%の増、歳出決算額は 149,349,862 千円、19.5%の増となっている。

歳入歳出差引額は、前年度と比較して 5,681,360 千円、26.1%の減となっており、歳入歳出差引額 16,123,187 千円は、翌年度に繰り越している。

(2) 財政収支の状況

第13表 決算収支の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | 20 年度 | | 21 年度 | | |
|----------------------------------|------------------|-----|-------------|-------------|-------|
| | 決算額 | 増減率 | 決算額 | 増減額 | 増減率 |
| 1 歳入総額 A | 787,516,412 | 皆増 | 931,184,914 | 143,668,502 | 18.2 |
| 2 歳出総額 B | 765,711,865 | 皆増 | 915,061,727 | 149,349,862 | 19.5 |
| 3 差引額 (形式収支額) C = A - B | 21,804,547 | 皆増 | 16,123,187 | △5,681,360 | △26.1 |
| 4 繰越財源 | (1) 継続費 繰越額 | 0 | - | 0 | - |
| | (2) 繰越明 許費繰越額 | 0 | - | 0 | - |
| | (3) 事故繰 越し繰越額 | 0 | - | 0 | - |
| | 計 D | 0 | - | 0 | - |
| 5 実質収支額 E = C - D | 21,804,547 | 皆増 | 16,123,187 | △5,681,360 | △26.1 |
| 6 単年度収支額 F = E - 前年度 実質収支額 | 21,804,547 | 皆増 | △5,681,360 | - | - |

平成 21 年度の財政収支についてみると、形式収支額は、前年度 21,804,547 千円と比較し 5,681,360 千円、26.1%減の 16,123,187 千円である。

実質収支額は、翌年度に繰り越すべきものがないため形式収支額と同額となっており、前年度 21,804,547 千円と比較し 5,681,360 千円、26.1%減の 16,123,187 千円となっている。

2 歳入

(1) 歳入の状況

第 14 表 歳入決算の状況

(単位:千円、%)

| 款 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 対予算収入率 | 対調定収入率 |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------|--------|--------|--------|
| 1 区市町村支出金 | 176,566,302 | 176,925,298 | 176,925,298 | 0 | 0 | 100.2 | 100.0 |
| 2 国庫支出金 | 229,123,966 | 240,466,600 | 240,466,600 | 0 | 0 | 105.0 | 100.0 |
| 3 都支出金 | 66,422,045 | 66,776,844 | 66,776,844 | 0 | 0 | 100.5 | 100.0 |
| 4 支払基金 交付金 | 412,806,463 | 410,389,490 | 410,389,490 | 0 | 0 | 99.4 | 100.0 |
| 5 特別高額医療費 共同事業交付金 | 212,321 | 167,600 | 167,600 | 0 | 0 | 78.9 | 100.0 |
| 6 財産収入 | 21,299 | 19,736 | 19,736 | 0 | 0 | 92.7 | 100.0 |
| 7 繰入金 | 14,286,768 | 14,161,892 | 14,161,892 | 0 | 0 | 99.1 | 100.0 |
| 8 繰越金 | 21,804,546 | 21,804,546 | 21,804,546 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 9 諸収入 | 213,834 | 495,533 | 472,908 | 0 | 22,625 | 221.2 | 95.4 |
| 歳入合計 | 921,457,544 | 931,207,539 | 931,184,914 | 0 | 22,625 | 101.1 | 100.0 |

予算現額に対する収入率は 101.1%で、調定額 931,207,539 千円に対する収入率は、前年度と同様 100.0%である。不納欠損額は 0 円、収入未済額は 22,625 千円である。

- 1 特別高額医療費共同事業交付金は、国民健康保険中央会が特別高額医療費共同事業により、400 万円を超える医療費のうち 200 万円を超える部分に対し、交付金を交付するものである。
- 2 財産収入は、後期高齢者医療特別会計調整基金の運用収入である。
- 3 繰入金は、一般会計、後期高齢者医療制度臨時特例基金及び後期高齢者医療特別会計調整基金から繰り出したものである。
- 4 繰越金は、平成 20 年度後期高齢者医療特別会計における決算剰余金を編入したものである。
- 5 諸収入の収入未済額は、医療給付に係る不当利得等の返納金の未済である。

(2) 歳入決算の推移
 ア 歳入決算の推移

第 15 表 歳入決算の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | 20 年度 | 21 年度 |
|--------|-------------|-------------|
| 予算現額 | 787,866,126 | 921,457,544 |
| 調定額 | 787,518,953 | 931,207,539 |
| 収入済額 | 787,516,412 | 931,184,914 |
| 対予算収入率 | 100.0 | 101.1 |
| 対調定収入率 | 100.0 | 100.0 |
| 不納欠損額 | 0 | 0 |
| 不納欠損率 | - | - |
| 収入未済額 | 2,541 | 22,625 |
| 収入未済率 | 0.0 | 0.0 |

平成 21 年度の対予算収入率は、101.1%、対調定収入率は、100.0%である。

イ 款別歳入決算額の推移

第 16 表 款別歳入決算額の推移

(単位:千円、%)

| 款 | 20 年度 | | | 21 年度 | | | |
|----------------------|-------------|-------|-----|-------------|-------|-------------|-------|
| | 決算額 | 構成比 | 増減率 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 1 区市町村 支出金 | 164,642,883 | 20.9 | 皆増 | 176,925,298 | 19.0 | 12,282,415 | 7.5 |
| 2 国庫支出金 | 203,775,621 | 25.9 | 皆増 | 240,466,600 | 25.8 | 36,690,979 | 18.0 |
| 3 都支出金 | 58,477,020 | 7.4 | 皆増 | 66,776,844 | 7.2 | 8,299,824 | 14.2 |
| 4 支払基金交付金 | 355,341,897 | 45.1 | 皆増 | 410,389,490 | 44.1 | 55,047,593 | 15.5 |
| 5 特別高額医療費 共同事業交付金 | 78,496 | 0.0 | 皆増 | 167,600 | 0.0 | 89,104 | 113.5 |
| 6 財産収入 | 41,470 | 0.0 | 皆増 | 19,736 | 0.0 | △21,734 | △52.4 |
| 7 繰入金 | 4,917,644 | 0.6 | 皆増 | 14,161,892 | 1.5 | 9,244,248 | 188.0 |
| 8 繰越金 | - | - | - | 21,804,546 | 2.3 | 皆増 | 皆増 |
| 9 諸収入 | 241,381 | 0.1 | 皆増 | 472,908 | 0.1 | 231,527 | 95.9 |
| 歳入合計 | 787,516,412 | 100.0 | 皆増 | 931,184,914 | 100.0 | 143,668,502 | 18.2 |

平成 21 年度の歳入決算額は、前年度と比較し 143,668,502 千円、18.2%の増である。これは、区市町村支出金が、保険料収納額の増により、また、国庫支出金、都支出金及び支払基金交付金では、療養給付費の増により、それぞれ収入済額が増加したことによる。

財産収入は、後期高齢者医療特別会計調整基金の運用収入が減ったため、前年度と比較し 21,734 千円、52.4%の減となった。

3 歳 出

(1) 歳出の状況

第17表 歳出決算の状況

(単位:千円、%)

| 款 | 予算現額 | 支出済額 | 構成比 | 執行率 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------------|-------------|-------------|-------|-------|--------|-----------|
| 1 総務費 | 3,522,960 | 3,254,941 | 0.4 | 92.4 | 0 | 268,019 |
| 2 保険給付費 | 883,221,868 | 877,725,843 | 95.9 | 99.4 | 0 | 5,496,025 |
| 3 都財政安定化基金拠出金 | 803,007 | 803,005 | 0.1 | 100.0 | 0 | 2 |
| 4 特別高額医療費共同事業拠出金 | 213,171 | 187,479 | 0.0 | 87.9 | 0 | 25,692 |
| 5 保健事業費 | 2,358,624 | 2,123,624 | 0.2 | 90.0 | 0 | 235,000 |
| 6 基金積立金 | 10,959,849 | 10,905,030 | 1.2 | 99.5 | 0 | 54,819 |
| 7 公債費 | 125,347 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 125,347 |
| 8 諸支出金 | 20,152,718 | 20,061,805 | 2.2 | 99.5 | 0 | 90,913 |
| 9 予備費 | 100,000 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 100,000 |
| 歳出合計 | 921,457,544 | 915,061,727 | 100.0 | 99.3 | 0 | 6,395,817 |

- 1 支出の主な内容は、保険給付費で構成されている。これは主に療養の給付に対する費用である。
- 2 総務費の不用額は、職員手当、システム運営委託料、給付に伴う事務処理委託費の執行残による。
- 3 都財政安定化基金拠出金とは、東京都が条例で設置した財政安定化基金への拠出金のことである。
- 4 保健事業費の不用額は、健診の受診実績が見込みより低かったことによる。
- 5 公債費の不用額は、一時借入金の利用がなかったことによる。

(2) 歳出決算の推移
ア 歳出決算の推移

第18表 歳出決算の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | 20 年度 | 21 年度 |
|--------|-------------|-------------|
| 予算現額 | 787,866,126 | 921,457,544 |
| 支出済額 | 765,711,865 | 915,061,727 |
| 執行率 | 97.2 | 99.3 |
| 翌年度繰越額 | 0 | 0 |
| 対予算現額比 | 0.0 | 0.0 |
| 不用額 | 22,154,261 | 6,395,817 |
| 対予算現額比 | 2.8 | 0.7 |

イ 款別歳出決算額の推移

第19表 款別歳出決算額の推移

(単位:千円、%)

| 款 | 20 年度 | | | 21 年度 | | | |
|------------------|-------------|-------|-----|-------------|-------|-------------|----------|
| | 決算額 | 構成比 | 増減率 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 1 総務費 | 4,548,270 | 0.6 | 皆増 | 3,254,941 | 0.4 | △1,293,329 | △28.4 |
| 2 保険給付費 | 747,260,106 | 97.6 | 皆増 | 877,725,843 | 95.9 | 130,465,737 | 17.5 |
| 3 都財政安定化基金拠出金 | 803,007 | 0.1 | 皆増 | 803,005 | 0.1 | △2 | 0.0 |
| 4 特別高額医療費共同事業拠出金 | 95,079 | 0.0 | 皆増 | 187,479 | 0.0 | 92,400 | 97.2 |
| 5 保健事業費 | 1,877,146 | 0.2 | 皆増 | 2,123,624 | 0.2 | 246,478 | 13.1 |
| 6 基金積立金 | 11,096,736 | 1.5 | 皆増 | 10,905,030 | 1.2 | △191,706 | △1.7 |
| 7 公債費 | 543 | 0.0 | 皆増 | 0 | 0.0 | △543 | 皆減 |
| 8 諸支出金 | 30,978 | 0.0 | 皆増 | 20,061,805 | 2.2 | 20,030,827 | 64,661.5 |
| 9 予備費 | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | 0 | - |
| 歳出合計 | 765,711,865 | 100.0 | 皆増 | 915,061,727 | 100.0 | 149,349,862 | 19.5 |

平成21年度の歳出決算額を前年度と比較すると149,349,862千円、19.5%の増である。これは、主に保険給付費が130,465,737千円、17.5%の増となったことによる。

IV 財産に関する調書

1 公有財産

広域連合は、公有財産を所有していない。

2 物 品

| 区 分 | 20 年度末 | 21 年度末 | 増 減 |
|------------|--------|--------|-----|
| 100万円以上の物品 | 45点 | 45点 | 無し |

取得金額100万円以上の物品の内訳は、サーバ26点、磁気ディスク装置9点、OA周辺機器6点、プリンター4点の合計45点である。

3 債 権

債権なし

4 基 金

(単位:千円)

| 区 分 | | 20 年度末 | 21 年度末 | 増 減 |
|-----------------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 後期高齢者医療制度臨時特例基金 | 現 金 | 3,316,189 | 5,702,606 | 2,386,417 |
| 財政調整基金 | 現 金 | 50,037 | 732,506 | 682,469 |
| 後期高齢者医療特別会計調整基金 | 現 金 | 6,768,509 | 6,575,090 | △193,419 |

※ 本表は、平成22年3月31日現在の数値である。